

新型コロナワクチンについて 企業の皆様に知ってほしいこと

新型コロナワクチンは高い発症予防効果等が認められる一方で、副反応等も一定程度生じています。お一人お一人が予防接種による感染症予防の効果と副反応等のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただいています。

● ワクチンの効果

発症予防効果と重症化予防効果

有効性	ファイザー社	モデルナ社
発症予防効果	95%	94.1%
重症化予防効果	88%	(100%)※

※重症化予防効果は症例数が少ないため、参考値
出典:コミナティ添付文書、COVID-19ワクチンモデルナ添付文書より

- ・発症や重症化を防ぐ効果があります。また、接種が進むことで患者を減らし、医療機関の負担減にもなります。
- ・軽症の若い人でも回復後の後遺症(脱毛、味覚の喪失、疲労感等)に悩まされている方が増えています。

効果の持続性

臨床試験後の追跡調査によると、2回目接種から6ヶ月後の発症予防効果は共に90%以上とされています。

変異株にも一定の効果

ファイザー社やモデルナ社のワクチンは変異株にも作用する抗体が作られたとの実験結果も発表されています。

2回接種で本来の効果を発揮

1回の接種では変異株への十分な効果が得られないとの研究結果があります。本来の効果を発揮するよう必ず2回接種を受けましょう。

● ワクチンの副反応等

よく起こる症状【接種後、数日以内に現れる可能性がある症状】

発現割合	症状	
	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛	接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛
10-50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ	関節痛、悪寒、吐き気、嘔吐、リンパ節症、発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑
1-10%	吐き気、嘔吐	接種後7日以降の接種部位の痛みなど

・接種直後より翌日に痛みを感じる方が多いです。その大部分は接種後数日以内に回復しています。

・発熱は接種後1~2日以内に起こることが多く、必要な場合は解熱鎮痛剤を服用するなど様子をご覧ください。

・重い症状や、いつもと違う体調の変化があれば、接種を受けた医療機関やかかりつけ医、県の専門相談窓口にご相談ください。

副反応等の症状が現れたら

埼玉県新型コロナワクチン専門相談窓口

☎ 0570-033-226

24時間 土日祝日も看護師等が相談に応じます



● 接種後も感染予防対策の継続を

- ワクチンを接種した方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ十分には分かっていません。
- 接種後も基本的な感染予防を継続しましょう。



● 健康被害救済制度

■ 予防接種では、極めて稀ではあるものの、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こった場合に備え、救済制度が設けられています。

■ 新型コロナワクチンの接種でも、健康被害が生じた場合、国が認定した場合は、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。

■ 申請に必要な手続き等については住民票がある市町村にご相談ください。



埼玉県 新型コロナウイルスワクチンチーム

● 新型コロナワクチン接種に関する差別等の防止について

- 体質や持病などの理由で接種できない方もいます。職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないようお願いいたします。

無意識にこんな行動していませんか？

偏見や差別の事例

- ☒ 回覧などの方法により、接種(希望)の有無が第三者にわかるように調査する
- ☒ 「接種を受けない場合は～」といったルールを作るなどにより、受けなければならない雰囲気を作る
- ☒ アレルギー症状の診断書を提出させるなどワクチン接種をしない理由を求める
- ☒ 退職、職場や授業からの退出を求める、参加させないなど非接種のみを理由として不当な取扱いをする



【その他の事例】

- ☒ ワクチン接種が済んだことを名札上に表示することになっている。
- ☒ 休んだ際の給与補償に関し、接種の有無によって差別的取扱いを設けている。
- ☒ 「接種は当たり前」「かかったらあなたのせい」といった言葉をかける。

職場におけるいじめや嫌がらせなどの相談窓口

埼玉労働局総合労働センター

☎ 048-600-6262

※ その他の相談窓口はこちら →



参考:日本弁護士連合会

「新型コロナウイルス・ワクチン予防接種に係る人権・差別問題ホットライン概要まとめ」

● ワクチン休暇の取得の配慮を

- ワクチンを接種された方の多くに、何らかの症状が現れることが報告されています。
- 1回目より2回目の方が、頻度が高くなる傾向があります。
- 接種当日や接種後に発熱等の副反応が出た場合、家族の接種の付き添いなどの際に、休暇の取得や勤務シフトの調整など接種しやすい環境づくりに御協力をお願いします。

● 不正確な情報にご注意を

- ワクチンの情報は科学的根拠に基づいた情報発信をしている公的機関などから得ることをお勧めします。
- SNSなどでは発信者が不明、信頼のおける情報源に基づいていない不正確な情報がある場合があり、注意が必要です。

厚生労働省サイト「新型コロナワクチンについてのQ&A」

